



# 日刊 動力千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話{(鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043(222) 7207番}

93.8.30 No. 3849

全国からの熱い支援に支えられ躍進した93夏季物販!

# 地歩を固める2倍化の実!

## 未来へ羽ばたく 青年部運動の飛躍雀

青年部は、来る九月一〇日から一日にかけて、千葉市なのはな俱楽部において第一六回定期委員会を開催します。

今定期委員会で勝ちとるべき課題は第一に、「第二の分割・民営化」攻撃=JR東日本「二・一ダイ改」、JR貨物「九四・X白紙ダイ改」から始まる

うとしている新たな一〇万人首切り大合理化を粉碎するために、総決起する体制を確立することです。

そして決意も新たに、強制配

転者の原職奪還、清算事業団闘争・解雇撤回闘争勝利へ!また、連革マル打倒へ闘い抜くことです。

**青年部第一六回定期委員会**  
日 時 九月一〇日 三時～九月一一日 一時  
場 所 なのはな俱楽部(旧千葉職員集会所)

来年は、動労千葉結成一周年。委員・傍聴者の圧倒的結集で、第一六回定期委員会の成功

**動労千葉青年部常任委員会**

9/10~11 第16回定期委員会

夏季物販の御礼  
九三年夏季物販は拡大方針(二倍化)の四回目としてあり、動労千葉は、今春闘での三波のストライキの息吹と、国鉄決戦の勝負はこれからだという決意のもと、のべ一九〇日、一七〇〇ヶ所の組合オルグをやりぬき、昨年(夏)を上回る実績をあげることができました。

皆様の御支援・御協力に心よ

り御礼申しあげます。  
早いもので、敵の兵糧攻め(大量解雇攻撃)に抗して、長期の闘いをやりぬくための物販運動をはじめて八年目を迎えるまし

た。今なお続く差別・選別のなかで、団結かたく四三名の解雇者を守り、今日の地平を切り拓くことが出来たのも、全国の熱い支援があつたからです。

この間、日本労働運動をめぐ

る状況は、動労千葉の闘いとは対極的位置にあります。それは八九年、自民党に祝福されて結成された「連合」により、労働者の切実な要求は汲み上げられることなく踏み躊躇られ、権力におもねり、「国際貢献」の名の下の、自衛隊の海外派兵にまで行き着いたことに端的に示されています。

「国鉄分割・民営化」後七年、

**動労千葉協販部一同**

その矛盾と破綻が明らかに、國鉄労働者の怒りを結集し、「JR体制」打倒の闘いを再構築しなければならないと思います。協販運動は、その大切な柱だという自觉のもと、解雇撤回の課題を高く掲げて、仲間と闘いを守るために、今後もその最先頭で頑張る所存です。

第二に、事実上の新生党=小沢政権である、細川連立政権の化けの皮を剥がし、侵略翼賛の細川政権打倒へ、今秋、小選挙区制導入=反動的政治再編攻撃と対決し、カンボジア第三次派兵阻止、改憲粉碎の反戦・政治闘争に断固として総決起することです。

全青年部員は、組織を牽引する機関車として、闘う方針の確立へ向けて、第一六回定期委員会に結集しよう!